

+1ハピ Get a little bit Better みんなにもうひとつのハピネスを



エシカルクラブは、2018年度に「エシカル消費推進」アドバンス校として後期課程でプロジェクトを立ち上げて以来、継続してエシカル消費推進に取り組んでいます。私たちが「今、できることは何か？」を考え、みんなが何らかの形でエシカル消費やSDGsに関連する活動に取り組むことを目標としています。これまでの活動を継続するとともにエシカル消費に関する研究を継続して行い、たくさんの人にエシカル消費を実践してもらえようというプロジェクトに取り組んでいます。

とくしま高校生エシカルサミット

8月25日〜27日に開催された「とくしま高校生エシカルサミット2025」から見た、世界の課題とエシカル消費。4・5年次10名がサミット参加者として、2名が運営スタッフとして参加しました。本イベントは、高校生等の若者が、エシカル消費の視点を取り入れながら未来の社会を形成する力を身に付けることができるよう、全国の高校生等を対象に、参加者が徳島県内でのフィールドワークや意見交換をとおしてエシカル消費の課題解決について考え、プレゼンテーション資料を作成して発表するイベントを開催することを目的に開催されました。

初日はパネルディスカッションが行われました。その後参加者が12グループに分かれ、「話そう 楽しもう 考えよう」として、ここから未来を見つめよう！」をコンセプトに、課題把握と提案に向けたグループワークを行いました。

2日目は徳島県内を南部、中・北部、西部に分けたフィールドワークが実施されました。それぞれの会場で地産地消、放置竹林活用、循環型農法、食品ロス削減、にし阿波の傾斜地農耕システム、耕作放棄地活用等について学びを深めました。フィールドワーク後は最終日の発表に向け、スライドを共同編集しながらプレゼン作成をしました。

最終日は各グループでプレゼン発表を行いました。それぞれがエシカル消費の推進に向けて世界の課題と向き合い、解決方法を提案しました。各グループの発表後表彰があり、4年の山村結衣さんのグループが、創造性と独自性に優れ、ユニークなアイデアのプレゼンテーションに贈られる「ナイスアイデア賞」を、4年の岡本大河さんのグループが、持続可能で地域に根ざした内容のプレゼンテーションに贈られる「とくしまサステナブル賞」を受賞しました。受賞には至らなくても、どのグループも現代社会の抱える課題をしっかり把握した上で、とても素晴らしい素敵な提案をしていました。参加した生徒から「イベントに参加して良かった」「本当に全部楽しかった」「県外の人と友達になれて良かった」等々、充実した3日間を過ごしたことが伝わる感想をもらいました。

文化祭「エシカル展」開催

文化祭では家庭クラブと合同で「エシカル展」を行いました。自分たちが行っているエシカル消費行動を書いて葉っぱにする「エシカル宣言の木」ワークショップやユネスコ世界寺子屋運動の紹介を行いました。さらに今年はエシカル体験としてワークショップを開催しました。端布を使ってオリジナルのヘアゴムを作りました。5分程度で簡単に作れることもあり、参加者にとっても喜んでもらえました。

エシカル消費推進アプリ制作に向けて

現在、エシカル消費について学ぶことができるアプリを制作中です。ゲームアプリにすることで誰もが簡単に、楽しくエシカル消費に向けた意識改革や行動の変容ができると考えています。昨年度に引き続き、株式会社TIDEさんのご協力をいただきながら、アプリの実用化に向けて取り組んでいます。

